

ママの「働きたい！」を法律が応援します

少子高齢化・人口減少社会に突入した今、貴重な労働力として女性の活躍が期待されています。しかし、いまだに「初めての出産を機に仕事を辞める女性」が約6割、「働きたいけど、家庭の事情で就職できない」とい

女性」が約300万人もいます。大切なのは、女性が働きやすく、性別に関係なく個性と能力を発揮できる環境をつくること。
昨年12月の「子育てママの再就職応援セミナー」に参加したお2人にお話を聞きました。

なぜ再就職を希望しているんですか。

野本さん…娘が将来やりたいことを経済的な理由で諦めて欲しくないからです。いろんな体験をさせるために家族旅行もしたいです。あと、働いている友人がかっこよく見えます(笑)

田中さん…私も経済的な理由ですね。家のローンもありますし。

野本さん…仕事を始めて、子どもも少し離れたら、今よりもっとかわいく感じて、大切にしたいという気持ちが増すのではとも思います。

働くにあたって不安なことを教えてください。

野本さん…保育園から子どもを迎えに来てほしいと連絡が来た時の

対応です。夫の職場は遠いので、私は仕事を抜けられるのかなと。
田中さん…今以上に自分の時間がなくなることでですね。帰ってからご飯を作ったり、子どもを寝かせていたり。子育てと仕事を両立できている人はすごいなと思います。

家族は協力してくれそうですか。

田中さん…夫は子どもの面倒をよく見てくれています。私が働き始めても、子どもの具合が悪くなったら、夫が仕事を抜けて迎えに行くと言ってくれています。

野本さん…夫は仕事で朝早く、帰宅が遅いので、負担をかけないようにしています。4月からは実家の近くの保育園に預けるので、いざというときは父や母に頼んじゃおうかなと。

男女共同参画についてどう思いますか。

野本さん…今だに企業は、家事・育児があるからと、女性を採用したくないように思います。男女平等とってはいても、いざ採用となると

悩んでいるんじゃないかな。

田中さん…育児中の女性の中途採用は厳しいですね。即戦力や長く続けることを求めているだろうし。



子育てママが再就職するためには、いくつもの困難があります。残業が減るように工夫したり、家庭が大変な人を支えたり、女性にとっても働きやすい職場は、男性にとっても同じはず。昨年8月に成立した女性活躍推進法は、女性たちが働くこと、働き続けることを支援するのが目的です。国が企業や行政に呼び掛けて、女性の背中を後押しします。

注目

女性活躍推進法

平成28年4月1日から、労働者が300人を超える企業は、女性の活躍を推進するための行動計画を作成することなどが義務付けられます(300人以下の企業は努力義務)。

カップルで一緒に! パートナーが料理でも応援します ランチクッキング&ピクニック、二人のハッピークッキング

「男は仕事、女は家庭」という意識は、今でも残っています。三条市では、男性から料理の楽しさや大変さを共感してもらおうと、カップルでの料理教室を開催。参加した男性からは、「自宅ですぐにできそうなメニューや材料でとても良かった」、「料理にちょっと目覚めました」といった意見があり、料理を始めるきっかけとなったようです。



ランチクッキング&ピクニック

平成27年7月~8月(全3回)
本成寺、しらすぎ森林公園 ほか

二人のハッピークッキング

平成27年11月~平成28年1月(全3回)
ソレイユ三条



プチセミナー

笑顔で輝こう

ステキな笑顔の作り方

市民窓口課 市民係 ☎34-5547

あなたに似合う笑顔がきっとあります。毎日を笑顔で過ごすためのヒントもいっぱい。おいしいコーヒーの淹れ方の実演も。コーヒーとスイーツでハッピーなひとときを。

とき…3月22日(火) 午後1時30分~3時30分
ところ…男女共同参画センター(三条ものづくり学校内)

定員…20人

講師…はっぴーズコミュ 代表 土田 陽子
ハッピーライフカフェ 代表 高井 美弥子

申込方法…住所、氏名、電話番号を電話、ファクス、メールでお知らせください。

ファクス 0256-31-1105

メール madoguchi@city.sanjo.niigata.jp

申込期限…3月14日(月)



●保育ルーム

希望者は申込時に子どもの名前、性別、年齢をお知らせください。

対象…生後6カ月~小学2年生

定員…先着 10人

利用料…1人 200円

東日本大震災から5年 防災にも女性の力を

多くの尊い命が失われ、甚大な被害をもたらした東日本大震災。震災直後の避難所では、女性の活躍が目立ちました。経験やネットワークを生かし、きめ細かな支援を行うことができたそうです。一方で、運営責任者の中に女性がいなかった避難所では、女性用の物資が不足したり、授乳の場所がなかったりと、多くの課題が見られました。防災・復興の担い手として、女性の参加を拡大することは大きな課題。男女共同参画社会は、災害に強い社会とも言えます。

